

市長のふれあい訪問

川口市立飯仲小学校 学校運営協議会

学校運営は保護者や地域住民の意向を踏まえ決定することを原則とし、地域の力を学校運営に生かすコミュニティ・スクール。県内で初めて指定された飯仲小学校で平成21年度から、学区内の町会長やPTA関係者、学校長など15人の委員が、子どもたちの見守り活動や夏祭りなどを行い、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいる学校運営協議会のみなさんを岡村市長が訪問。活動内容などを伺いました。



コミュニティ・スクールのイメージ



市長 みなさんこんにちは。いよいよ師走、12月を迎えました。お体には十分気をつけて、今月を乗り切って新しい年をお迎えただけだと思います。今月の市長のふれあい訪問は「川口市立飯仲小学校学校運営協議会」のみなさんです。

まず、「学校運営協議会」という名称は聞き慣れないのですが、どのような組織ですか。

尾熊 別名コミュニティ・スクールと呼ばれ、県内で初めて、平成21年に本校が指定されました。学校の教育方針や教育課程、設備管理などは、協議会の承認を得ることになっています。さらに、教職員の任用にも意見を具申することができますという、大きな権限を与えられています。地域の意見を学校



運営に十分反映させていくことから、「地域立学校」とも呼ばれています。

市長 設置までにはずいぶん会合を重ねたようですが、ご苦労はありましたか。

篠田 平成19年9月から、勉強会や研究会などを合計16回行いました。

遠山 初めてのことでしたので、わからないことばかりでした。

市長 協議会を設置したいという思いは、どんなところから生まれたのでしょうか。

尾熊 学校が閉鎖的で何とかしなければという思いがありました。そんな折、市内で二人目の民間人校長として、新しい視点から学校運営に取り組んでいた山本校長（本年2月急逝）から協議会の話をお聞きいただき、諸手を挙げて賛成しました。

市長 なるほど。委員は何人いるのですか。

田邊 15人です。私は町会長になった今年から委員になりました。

関 私も今年から委員になりました。学校でのイベントなど



に町内からも参加してもらおうと呼びかけています。

市長 どんな活動をしているのですか。

田邊 毎月第4火曜日に協議会を開いています。また、毎月第4月曜日の放課後に子どもたちを校庭や体育館で遊ばせる「飯仲いきいきひろば」や、8月の「いいなか夏まつり」の運営などを行っています。

市長 活動で困ったことなどはありますか。

関 時間帯のせいとか、ボランティアの参加が少ないので、PTA会長の石澤さんから、町会の役員会の折に説明していただいています。もっとPRしていかなくてはと思っています。

市長 石澤さんは、PTA会長で協議会の委員でもあるのですね。

石澤 はい。一保護者として、子どもたちが地域のみなさんに見守られていることは、とてもありがたいことだと思っています。朝の登下校の見守りを町会で継続していただけるのも、協議会のおかげですので、とても感謝しています。



市長 学校運営は協議会の承認をいただくと伺いましたが、これまでに、学校側と意見が合わないといったことはなかったのですか。

遠山 対立などなく、うまくいっています。今では、学校に来る回数も増え、見守り活動を通じて子どもたちとのつながりができました。

市長 学校のみなさんの意見を十分受け入れたということですね。何か課題はありますか。

篠田 先生方にも、仕事ではなく子どもたちのために大人の一人として、私たち地域ボランティアと一緒にスクラムを組めればと思っています。

市長 最後に今後の抱負をお願いします。

尾熊 一人でも多くの方に協議会のことを知ってもらい、地域のみなさんが学校に足を運ぶ機会を増やすことで、より良い学校になると思います。県内でナンバーワンと評価される学校になるよう頑張ります。

市長 子どもたちのために、地域と学校が協働して取り組むことはとても大事なことです。これからもよろしくお願います。今日はありがとうございました。